

KiKiの広場

2022年 9月 1日
cafe NO.143
KiKi



毎年9月というと他の月と違って、少し気が引き締まる思いがします。それは、9月が「ヒストリア宇部」がオープンした月だからです。新しく仲間となった人たちとオープンに向けていろいろ準備したことや、期待と不安が入り混じったいろいろな思いがよみがえります。はたしてスタッフの1人としてやっていけるのだろうか、との不安と緊張を紛らわすかのように、カフェに飾る為にぐりとぐらやエルマーのりゅうのぬいぐるみ作りに没頭したりしたのもこの頃です。この時期があつての今があります。初心を忘れずに、まだまだ自分にできることを考えながら、12歳（おーっ！一回り！！）年齢は重ねましたが、これからも頑張っていきたいと思えます。

9月の予定

休館日	13日(火)
休業日	毎土・日・月曜日
臨時休業日	29日(木)



「気まぐれシェフのKiKi オリジナルシフォンケーキ」

🍰「紅茶のシフォンケーキ」……300円 🍰

紅茶の香りを楽しみながら、しっとりふわふわの口当たりをお楽しみください。生クリームとの相性ピッタリです。



今月のお気に入り・「いろいろなお月さまに出会いたい」



～「まんまるおつきさまおねがいよう」「おこった月」「たくさんのお月さま」「おつきさまこんばんは」「おつきさま」など～



「まんまるおつきさまおねがいよう」は、山田養蜂場主催のコンクール作品で、文が角野栄子さん、絵が最優秀絵本賞受賞のくりこさん、これがデビュー作です。みんなの願いをさりげなく優しく叶えてくれる不思議なケムリンさんですが、叶えられそうにない難しいお願いをされて・・・さあどうする？

蜜蜂と月のシーンが、幻想的で美しく幸せな気持ちになります。「おこった月」は、アメリカ先住民に伝わる昔話で、月を怒らせさらわれてしまった女の子を、男の子が助けに行くお話です。勇気のある男の子に、いろいろな力が味方してくれます。女の子を助けた後、怖い月に追いかけられながら逃げるところは、まるで「三枚のお札」のようで最後までハラハラドキドキさせられます。忘れられない絵本になりました。



今月の本棚・・・「残暑を、笑ってふきとぼそう！！」

～「どうもろこしぬぐぞう」「おぼけのかわをむいたら」「うろおぼえ一家のおかいもの」「いっぽんぼしわたる」などなど～



「どうもろこしぬぐぞう」は、ただどうもろこしが自分で皮をはいでいくというお話なんです。ぬぐぞうさんの脱ぎっぷりが、何とも男気があって気持ちいいです。ボディビルダーのようなぬぐぞうさんに、思わず笑ってしまいます。「おぼけのかわをむいたら」の作者は、お笑い芸人のたなかひかるさんです。奇想天外のこの絵本、とにかく読んでみてください。



んん??なんで??の連続です。(^・^) 何も考えずにただただひたすら笑いたい時におススメです。

ほっとフレイク

変身！黒豆ジュース・・・「魔法の水」を入れて、「魔法のステッキ」で混ぜると・・・あれれ？ 不思議？

「黒いジュース」が「赤いジュース」に大変身！これまで黒豆ジュースは、赤い色になったものをお客さまにお出ししていましたが、実は黒豆の煮汁を使っているので、最初は黒い色をしています。仕上げに「魔法の粉」をかけると、あっという間に赤い色に変わります。黒から鮮やかな赤に変わる瞬間は、作っていて毎回気持ちのいいものです。それを店内のお客さまにも味わってもらおうとスタッフが考えたのが、



「魔法の粉」ならぬ、「魔法の水」です。「魔法のステッキ」の先に黒豆がついています。ぜひ自分で混ぜて、色が変わる瞬間を味わってみてください。おまけで黒豆も食べてみていただけたらと思います。結構、美味しいですよ。

